

# 田尻町での泉州黄たまねぎ せんしゅう き (吉見早生・今井早生) 栽培

【通称：たまねぎプロジェクト】



田尻町では、泉州黄たまねぎの発祥の地として、かつては吉見早生や今井早生という品種が盛んに栽培されていました。田尻町を代表する品種となっています。

そこで、今やまぼろしのたまねぎと称されるこれらの泉州黄たまねぎを栽培し販売することで、ここでしか味わえないものとして、ブランド化を図り、町おこしのきっかけをつくり、かつ、農業者と田尻町の活性化をめざしています。

また、たまねぎの地域限定販売等のイベントを田尻町の観光の拠点として位置づけている田尻漁港の日曜朝市の会場で行なうことで、朝市への来場者の増員を目指し、これらによる、漁業者等の活性化を併せて目指しています。

なお、大阪府の有形文化財として指定を受けている『田尻歴史館』内にあるカフェ『ベッラメンテ』では、地元の食材を使った料理として、期間限定ですがこのたまねぎを使った料理を提供しています。

## 【栽培する品種等】

なにわの伝統野菜として、大阪府と田尻町から認証を受けて栽培しています。

- ・対象品目等 泉州黄玉葱（吉見早生及び今井早生）
- 発祥時期 明治13年採種成功
- 形質の特徴 大阪は秋まきたまねぎの発祥の地で、泉州黄の球形は扁平か甲高と早晩性で分化している。肉質は柔らかく甘みが強い。



これが大阪府と田尻町の共同認証シールです。

## ※ なにわの伝統野菜ってなあに？

古くから大阪の農業と食文化を支えてきた歴史や伝統を持つ大阪独特の野菜を、消費者にPRしブランド化を図るため、伝統野菜の認証基準をつくり15品目の野菜を選定いたしました。

また、統一の認証マークの使用を認める認証制度も創設し、基準に従って栽培される野菜や加工品にシールを付けて販売しています。

## 【作付け】

平成18年度は、吉見早生と今井早生を合わせて5畝=5a（2000kgの収穫）程度です。

『吉見早生』は、20年前に農協への出荷が出来なくなったことで、田尻町内から姿を消した品種です。町内の農家の方が自宅の床下で20年間大切に保存されていた吉見早生の種を、当時の大阪府立食とみどりの総合技術センター（現在の大阪府環境農林水産総合研究所『食とみどりの技術センター』）に持ち込み、発芽試験を行っていただいたところ、成功しましたので栽培することとなりました。

『今井早生』の種は伝統野菜の種の保存に尽力しておられる種苗店より入手いたしました。



町内の農家であり、かつ農業委員の2名の方が栽培されています。

## 【たまねぎ栽培日記と今後】

### 発芽試験は・・・

平成18年8月24日

『吉見早生』の発芽試験を開始（当時：大阪府立食とみどりの総合技術センター）

平成18年8月29日

発芽状況



平成18年9月3日

結果は、缶によって約10%~60%の発芽率となりました。

まさしく20年の眠りから目覚めた吉見早生のあかちゃんです。

田尻町での栽培・・・

平成18年9月21日

播種（種まきをしました。）



平成18年10月12日と26日

発芽状況（左が吉見早生、右が今井早生です。）

10月12日現在



10月26日現在



平成18年11月5日～12月4日

定植（大きな畑に苗を植え替えました。）



そっかー？  
たまねぎは、大きく育つ  
ために広い場所に植え替え  
られるんだね！  
早く大きくなってね！

By たまねぎ応援団

平成18年12月4日

その後の様子 (定植後半月~1ヶ月)



平成19年1月11日

その後の様子 (定植後1ヵ月半~2ヶ月)



ちょっと弱そうだけど  
大丈夫かな~??

ずいぶん大きく  
なったね~!  
By たまねぎ応援団

平成19年3月16日

場所によって育ちも違いますが、だんだん大きくなってきました。(定植後3ヵ月~4ヶ月)



平成19年4月17日

NHKでこのたまねぎが放送されましたよ!



アナウンサーが生のだ  
まねぎをかじるのは定番  
になってきましたねー!  
でもまだこんなに小さ  
いです。

# 復活イベント『泉州黄たまねぎ祭』開催を決定しました。

※ 婦人会や、食生活改善関係団体、各種ボランティア団体等に協力を求め、簡単な試食を予定しています。

たまねぎのてんぷら、たまねぎサラダ、  
あなごと一緒に煮ても美味しいかな〜??  
田尻焼きっていうのもあるらしいよ!  
試食は「あなごと煮た柳川風」、「たまねぎドレッシング」  
に「えびとたまねぎの搔き揚げ」だって!  
田尻歴史館でもコラボでこのたまねぎを使ったハンバーグな  
んかも食べることが出来るよ。  
イベントが楽しみ・楽しみ・・・



By たまねぎ応援団



ちょっとここで田尻町の宣伝!!

田尻町内のマンホールは、たまねぎのデザインです。  
町のあちこちでこの図柄のマンホールが見られます。



田尻漁業協同組合が開催する日曜朝市の様子



田尻町のシンボル「田尻スカイブリッジ」



平成19年5月11日 なんとか収穫にこぎつけました。

矢が折れると収穫時期と言われるたまねぎです。写真でもずいぶん矢先が倒れているのが見えます。



ここまで来れば収穫できるということで、  
収穫が始まりました。

たまねぎ切るのは、腰が痛くな  
って大変なんやでー。  
農家の苦勞もわかってなー。

吉見早生と今井早生の収穫風景です。



こんなに見事な吉見早生が収穫できました。



吉見早生20年ぶりの復活やー。  
甘くてみずみずしいからサラダ  
なんかにして、生で食べるのが  
美味しいよー。

平成19年5月13日

## 泉州黄たまねぎ祭の様子

当日は、田尻漁港の日曜朝市会場の一角を使用し、吉見早生と今井早生を農業委員会で販売いたしました。20年前の種を使った吉見早生は3個300円という価格にもかかわらず、600セットがすべて完売いたしました。



地元の婦人会と食生活改善推進協議会の協力を得て試食を行っていただきました。特にえびと吉見早生の掻き揚げは大人気でした。



当日は、地元の子供たちに田植えや稲刈りを体験してもらって作った古代米（赤米）を配布いたしました。



※ ここに掲載した内容はプロジェクト初年度に行なった取組み経過を掲載しています。なお、平成20年のたまねぎ祭りでは吉見早生が生育せず、今井早生のみ販売となり、平成21年のたまねぎ祭りでは、吉見早生を2年ぶりに販売することができております。